



コンパス住吉台

Tel:中学校 090-9148-1396 Tel:小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
令和5年度版
地域合同防災訓練特別号

2023年11月6日発行



学校・地域連携の取り組み



◆ 住吉台地域合同防災訓練 ◆

10月15日(日)住吉台地域合同防災訓練が実施されました。小学校、中学校、地域との合同訓練は4年ぶりとなります。今回は小学校が会場となり、小学校が避難所になった場合を想定し、学校・地域が協力して円滑な運営が図れるようにすることを目的として様々な訓練が行われました。

◆ 各町内会で ◆



朝、8時に花火(雷鳴)が打ち上げられ、訓練が開始されました。各町内会では、班長が各家庭の玄関先の安否確認の目印を確認、目印の出いていないお宅は訪問して安否確認を行いました。その後、班長は各集会所に安否確認集計表を届けます。また、各町内会は町内の集計結果を災害対策本部(住吉台コミュニティセンター)に連絡します。

班単位の安否確認だけではなく、災害時要援護者のお宅には個別に訪問し確認を行います。

各集会所に集まった方々15名ほどが、一時(いっとき)避難所である集会所から徒歩で小学校の体育館に避難しました。その後、小学生・中学生とともに地域防災訓練に参加しました。



◆ 小学校では ◆



小学校の各教室では、防災についての学習が行われました。震災時の心構え、東日本大震災時の映像、大災害と人の心の動き等、学年に応じたプログラムで学習を進めていました。

また、中学生が訓練準備のため、小学校に移動してきました。懐かしい学び舎の靴箱の低さなどを見て、成長を感じている会話も聞かれました。





訓練に先立ち、後藤連合町内会長は校内テレビ放送にて「訓練の積み重ねが自分と周りの人を守ることに繋がり、今後に活かされる」とのお話をされました。



10時から始まった合同訓練では、中1は仮設トイレの組み立て、中2は高齢者体験とAED講習、中3は炊き出しと避難所運営訓練を行いました。中学生は関係団体や地域防災リーダーの方々の指導を受けながら、地域の方々と一緒に訓練に取り組みました。



小学生は濃煙テント体験、消防車見学、仮設トイレ組み立て見学などを行いました。

小学生は様々な訓練を見学し、災害時にどのようなことが必要なのか考えるとともに、頼もしい先輩である中学生の姿を真剣に見つめていました。



訓練のラストは全員が体育館に集まり、ロコモ体操を行いました。仙台医健・スポーツ専門学校の丸屋先生と福祉の授業でロコモ体操を学んだ小4がお手本を披露しました。参加者全員でロコモ体操を行う姿は圧巻でした。皆さんの気持ちが一つになり、充実した合同防災訓練を締めくくることができました。

